



国民の森林・国有林

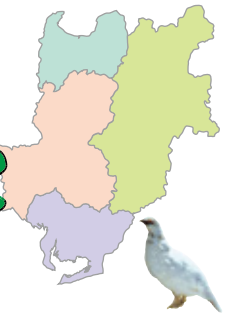
林野庁  
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5  
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

# 中部の森林



## 2月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。  
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



令和2年度中部森林技術交流発表会（中部森林管理局広報）

### 主な項目

- 本局のトピックス（令和2年度中部森林技術交流発表会 …… P 1
- 各地からのたより（新年初市 開催！～木曽署ならではの「土場活」～ほか …… P 3
- 森林のお仕事紹介コーナー
  - ・「森林官からの便り」（伊那谷総合治山事業所 小渋川治山事業所） …… P 5
  - ・「林業土木業界からの便り」（木下建設株式会社） …… P 6
- シリーズ「お役に立ちます国有林」第7回
  - ・多様で健全な森林づくりへの取組～見える化プロジェクト～ …… P 7
- 連載「木曽式伐木運材図会」の解説（第10回） …… P 8
- シリーズ「ご当地自慢」（東濃森林管理署「東濃の巨人（木）たち」） …… P 9
- 新型コロナの感染リスクを下げるために全ての場面で引き続き守ってほしいこと P 10
- 国有林モニターのご紹介／編集長だより …… P 10

### 〈本局のトピックス〉

#### 中部森林技術交流発表会

「オンラインで会場と発表者を結びライブ配信」

#### 【技術普及課】

一月二十八日と二十九日の両日、令和二年度中部森林技術交流発表会を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当局と各地の発表者をWeb会議システムで結ぶオンライン開催としました。

発表者には、事前に音声付きパワーポイントを作成いただき、それを再生した後に審査委員がスクリーンに映る発表者に質問や助言を行うかたちで進行し、その様子をWebでライブ配信しました。

当局としても初めての試みでしたが、森林管理署等による国有林の部だけでなく、民有林・学生の部として研究機関、大学、高校、民間企業の皆様にも参加いただき、合計二十一課題が発表されました。

なお、国有林の部から選定している優秀賞は次の三課題です。

#### 「軽量フレームを使用した等厚コンクリート擁壁の開発」

#### 【伊那谷総合治山事業所】

崩壊地の復旧に用いられるどどめ工について、「既存工法と同等条件を満たし、資材を軽量化して労働負担を軽減しつつ、木材も利用する」といった高度な目標を掲げて新たな工法を開発し、実際に現地で施工した成果と普及が期待できる発表がありました。 ※関連記事五ページ

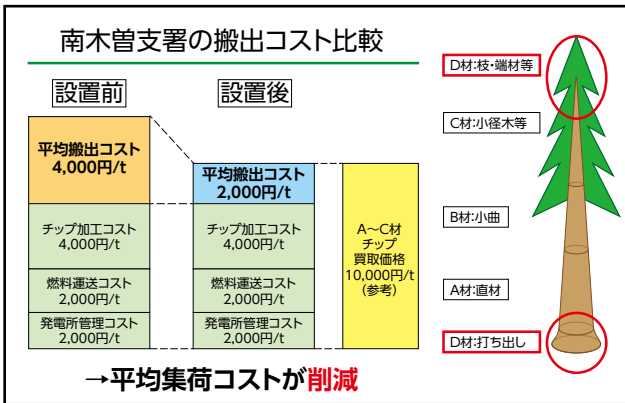


完成した第2号試作品（崩壊地中腹部を横切る新規工法）

#### 「D材（末木枝条）の継続的販売の取組について」

#### 【南木曾支署】

丸太の生産に伴い発生する枝葉や幹の末端部（D材・末木枝条）について、発生量を推計して買受者を募集するとともに、利便性の高い箇所へ中間土場を設置して搬出コストを削減することにより、有効に利用される末木枝条の数量を年々増加させている取組の発表がありました。



#### どの方法もメリット、デメリット、食害リスクがある

※一度被害が出ると、植付・下刈・シカ対策コスト等  
それまで行った作業コストが無駄になる

#### 愛知県内におけるシカ対策モデルを検討

#### ★検討のポイント★

- 通行頻度 → ワナ設置可能かどうか
- 植栽面積 → 防護柵か単木か
- 植栽地の傾斜 → 金網かステンレスか

複数の検討ポイントから最適な対策モデルを導き出す

#### 「循環型林業確立に向けた

#### ニホンジカ対策モデルの検討」

#### 【愛知森林管理事務所】

ニホンジカによる林業被害の対策について、複数の獣害防護柵及び単木防護資材の設置や管理のコストを比較するとともに、生息状況と行動を解析した効果的な捕獲方法の検討を行い、見回りの頻度、植栽地の面積や傾斜など、現地の条件に応じたニホンジカ対策モデルの発表がありました。



〈国有林の部（十六課題）〉

「森林技術部門」では、UAV（無人航空機、ドローンなど）にマルチスペクトルカメラやレーザースカナーなどを搭載して事業に活用した事例、携帯電話不感地域の工事現場での通信連絡網の導入試験、山腹崩壊地の植生復元の経過、災害に強い多様な森林づくりに向けた主伐や間伐の進め方と課題、複層林・下木の光環境や健全な林床を考慮した密度管理、下刈り頻度が植栽木の成長に与えた影響など、多岐にわたるテーマが揃いました。

「森林ふれあい部門」では、戸隠大峰自然休養林の民間サポーターによる木道整備、岐阜県高山市・庄川町と連携した湿原植生の保全活動の発表がありました。

「森林保全部門」では、樹冠画像解析システムを活用したタテヤマスギ巨木の活力度評価、雪崩シミュレーションを用いた雪崩規模や治山ダムの効果の推定と堆積した流木の有効活用事例、などの発表がありました。

〈民有林・学生の部（五課題）〉

・岐阜県立森林文化アカデミーからは、人力作業が中心の造林・育林作業の機械化について、無人化も加えた導入試験の結果報告がありました。

・岐阜県森林研究所からは、初期成長量が大きく育苗期間の短いヒノキコンテナ苗の育成方法の検討結果が発表され、育苗と植栽技術をもとめた指針書を作成し、技術移転が進んでいるとの報告がありました。

**技術移転(技術指針書の作成)**

優れたヒノキコンテナ苗の作り方と植栽時の留意点



岐阜県森林研究所

**対象者**

- ヒノキコンテナ苗をはじめて育成される方
- 現状より優れたヒノキコンテナ苗を育成したい方
- ヒノキコンテナ苗を造林される方

**特徴**

- 基礎編と応用編で構成
- 基礎編：ヒノキコンテナ苗をはじめて育成したり造林される方がわかるように作成
- 応用編：現状より優れたヒノキコンテナ苗を育成したり、入手したい方が利用できるように作成

岐阜県森林研究所ホームページ  
<http://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/>  
 より入手可能

技術指針書の作成（岐阜県森林研究所）



地元材を生徒自ら製材し、地元保育園の遊具（屋台）を製作（下高井農林高校）

・信州大学及び大学院からは、UAVで撮影した写真から松くい虫被害木の位置を半自動で抽出する機械学習の成果と、雪崩跡地の樹木の更新に関する細やかなフィールド踏査の結果について発表がありました。

・下高井農林高校からは、先輩から引き継いできた地域貢献の取組について、「木育」と「観光活性化」の活動報告がありました。



Web会議システムによる質疑応答の様子

今回のコロナ禍においても、多くの方々のご理解ご協力があったからこそ、中部森林技術交流発表会を無事に開催することができました。

今後、研究機関、学校、林業事業者等の関係機関や地域との連携を深めるとともに、発表成果を業務に活用しながら地域や時代の要請に応じた技術の開発と普及に取り組みます。

詳細につきましてはQRコードを読み込んでください。







1本501万円で落札された天然木曽ヒノキ

## 新年初市 開催!

木曽署ならではの

「土場活」

【木曽森林管理署】

一月十三日、長野県木曽郡上松町の木曽官材市売協同組合において「第二四五回国有林土場活用委託市売新年初市」を開催しました。

国有林土場活用委託販売「土場活」は、平成十三年七月まで上松木材販売所で行っていた丸太の公売に代わり、国有林の各土場（貯木場）を使用し、丸太の集積・仕分けは国が行い、入札業務を木材市場に委託する販売方法です。天然木曽ヒノキやサワラ等の民有林から供給が期待しにくい樹種を計画的に供給する取り組みの一つになっています。

この「土場活」は他の丸太の委託販売と違い、丸太の仕分けには国有林職員の経験・知見を活かして買い手からの要望を考慮しているほか、出材品からの特別な選木も可能となっています。

今回の新年初市では元玉材のみを集め、集積方法もピラミッド型

にするなど見た目も重視して販売しました。特別に選木仕分けされた丸太は五つの土場（新上松、焼笹、水ヶ瀬、野尻、三殿）にそれぞれ準備し、二十八物件、百五十一立方メートルを販売しました。

本年度は七月の豪雨で出材の遅れもありましたが、天然木曽ヒノキの新材出品も間に合い、天然木曽ヒノキ四等材十メートル×五十四センチメートルには百六十九万円（税込）／立方メートルの値が付きました。入札枚数も十二札と今年度の最高入札枚数となっています。

地元製材工場や中京圏の引き合いが活発で盛大に開催することができ、総販売数量二千二百立方メートル、販売額は八千九百六十万円（税込）となりました。

今後も民有林からの供給が期待しにくい「国有林材」の供給に努めていきます。





### 《各地からのたより》

#### 紅柄(べにがら)って？

##### 【木曽森林管理署】

当署では、丸太の販売にあたり、天然木（天然木曾ヒノキやサワラ等）の切断面には紅柄（酸化鉄顔料）を用いて等級区分などの筆入れをします。これは、買方への丸太の引渡完了まではっきりと文字が読み取れるよう伝統的に行われてきたものです。

この業務を請負っている、みどり産業株式会社でも、本年度搬出された天然木の等級付けを紅柄で筆入れを行っています。

紅柄は中部・近畿地方以西の伝統的民家建築の木材に塗られているものを目にする事ができるようです。これを筆入れに使っているのは、耐久性を必要としたこの業務の伝統ではないでしょうか。



残り続ける紅柄



ベテランによる墨入れの様子

竹べらに水に溶いた紅柄を含ませ、丸太の切断面に上方から一気の一筆書きをしています。管内の各土場（貯木場）には何回も筆入れの練習をした後が残っており、その心意気が窺えます。素人見まねで筆入れを試してみましたが中々上手に書くことができません。

最近では丸太の自動選木機による測定のため標示の省略やチョークによる簡易標示も多くなっています。天然木は安定供給の観点から土場に年度を超えて保管される材もあることから、製材されるまで「雨風に耐え消えない」このような伝統や技も忘れてはならないと考えています。

#### 市民の水源地

##### 「奥三界岳」を巡視

##### （若手職員による現地調査）

##### 【東濃森林管理署】

十一月十二日、岐阜県恵那農林事務所、中津川市川上総合事務所と当署職員で中津川市民の水源地流部の奥三界岳（川上国有林）へ登頂し、源流部や保安林関係施設等の現地確認調査を行いました。

奥三界岳（標高一、八一メートル）は、岐阜県中津川市と長野県木曾郡大桑村及び南木曾町にまたがる阿寺山系の最南端に位置し、「日本三百名山」ならびに「ぎふ百山」に選定されています。

当日は、崩れてしまった山肌や洗掘された登山道等、昨年七月の豪雨の爪痕を目の当たりにするな



源流部の湿地帯の森林を確認



施設の確認・調査を終えて(一時的にマスクを外して)

ど、自然の脅威を実感しました。山頂付近にある湿地帯は、周辺の森林帯とともに重要な水源涵養機能を果たしており、適切に管理されていることを確認し、頂上部では貸付地及び作業許可地内の施設の構造等が適切か確認・調査した後、うっすらと見える名古屋市を眺めながら昼食をとり、各々が頂上からの絶景を満喫しました。

今回は、中津川市川上総合事務所長から奥三界岳の歴史や見所等について分かりやすい解説をいただき知見を広めたと同時に、国有林野管理と保安林業務の重要性を学ぶ良い機会となりました。





とびがす  
復旧が進む鳶ヶ巣大崩壊地

伊那谷総合治山事業所 小渋川治山事業所  
治山技術官 立邊 真悟  
小渋川治山事業所は長野県下伊那郡大鹿村に所在し、南アルプス赤石岳に源を発する天竜川流域小渋川上流域の約一五、三五〇ヘクタールの民有林を事業区域とする民有林直轄治山事業を実行しています。



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



地すべり活動を抑制する排水トンネル

大鹿村は中央構造線が南北に縦走し、構造線の影響を受けた脆弱な地質によって村内のいたる所に大規模な崩壊地が発生しています。この大規模な崩壊地を復旧するには国の直轄事業が有する高度な技術が必要であることから、長野県及び大鹿村からの強い要請を受け昭和二十五年から事業に着手し、七十年もの長期にわたり治山工事を実施しています。



開発を進めている新たな工法

当事業所では、これまで数多くの山腹工を実施してきましたが、近年、治山工事を始めとする建設業では業者の減少や高齢化が進行しており、特に、これまで山腹工の基礎工として多く使用されているコンクリートブロックを扱える職人（石工）の減少と高齢化は著しく、この職人を確保することが非常に困難な状況になっています。そこで、当事業所では、重量があつて熟練の技術が必要なコンクリートブロックに代わって、組立が簡単で誰でも安全に取り扱うことができる軽量フレームと、木材の利用を推進するために平割材を残存型枠に使用した工法の開発を進めています。

労働負担の軽減と安全を確保するために開発したこの工法は、現場作業員から「軽量であり組立が簡単で作



筆者（事務所前にて）

業が容易だった」との感想をいただくことができました。この工法は、建設業の現状や実態を踏まえ開発を行ったものでありますので、今後、全国的に広げばと期待しています。

■未来の担い手へのメッセージ  
近年は局地的豪雨が多発し、土石流などによる甚大な被害が発生しやすい状況となっています。災害を未然防止するためには、治山事業が不可欠であり、森林の持つ水源かん養や山地災害防止などの機能を高度に発揮するため、誇りを持って治山事業に取り組みたいと思います。また、治山事業は短期間で成果を実感できるので、若い人達にも挑戦してもらいたいと思います。

もり  
〈森林のお仕事紹介コーナー（林業土木）〉

令和 3 年 2 月

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



木下建設株式会社

石原 賢巳

(一九九七年入社)



筆者

■事業の概要

請負事業：砂古谷（小西川）

復旧治山工事

発注者：伊那谷総合治山事業所  
本工事は、飯田市上飯田松川入小西川上流部の山腹工事で、〇・二六ヘクタを練布ロック積土留工・軽量植生シート水路工・丸太筋工・

植生マット伏工・厚層基材吹付工を主な工種として施工する復旧治山工事です。



現場の全景

■現場での役割、魅力

私の役割は、現場代理人兼主任技術者で、当現場での施工全般の総括管理を行いました。特に急峻地形でのブロック積土留工配置では、地山との接続を考慮しながら測量し、線形を定めるなど、図面からは読み取れないことが多く、出来上がったブロック積土留工とその間の筋工、緑化マット伏が周

囲の森になじむのを見て、それまで現場関係者と相談を重ねてきた成果に一層の感動が湧きました。また、林道から現場最頂部までが約二百六十メートルと高低差が多く、作業関係者の歩行時間に時間を要し過ぎると考えましたので、モノレール架設を導入し、作業効率の向上を図りました。

■林業土木の世界に

入ったきっかけ

私がこの業界に入ったのは、会社に入社後二年たったところから小西川治山資材運搬路の現場補助員として配属を受けたことがきっかけでした。何も無い山の中で、先ず自分で歩く作業道から作っていききました。経験のない私としては毎日が右往左往しながらの連続でしたが、晴れた日の昼食後の静かで涼しい環境下で何か自由をいただいたように思いました。それから段々この仕事が好きになりました。

■未来の担い手へのメッセージ

何でも初めは楽な処はありません。いろいろ考えてあげずに取り組むことにより苦難から楽土に変わると思っています。「継続は力」の繰り返しです。焦らず気長に構えて取り組みれば、必ず成果は出ます。そうしたら続けることは気楽にできます。





中部森林管理局では、森林の公益的機能の発揮や林業の成長産業化に向けて様々な取組を行っています。その中から民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様に、参考にしていただけたら幸いです。

また、当局ホームページにおいてもこれら事例を紹介しています。

詳細は、QRコードを読み込んでください。



## 多様で健全な森林づくりへの取組～見える化プロジェクト～

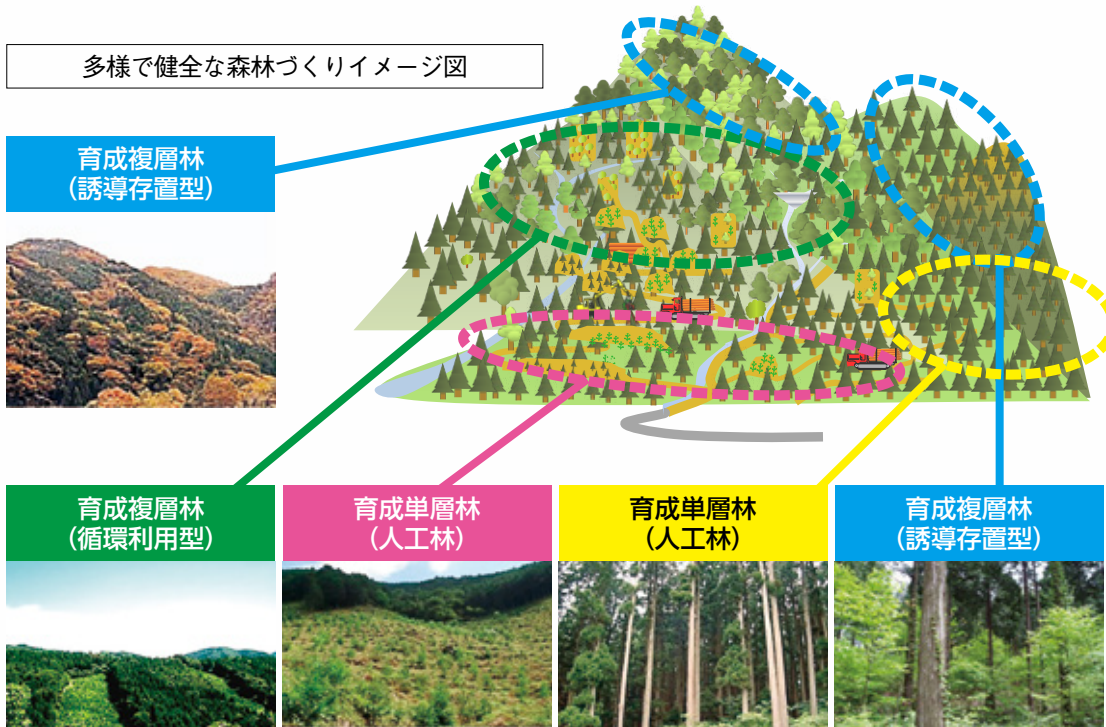
### 1. ねらい

生物多様性の保全など、森林の持つ公益的機能の一層の発揮に向け針広混交林等の多様な森林づくりを進めるため、「見える化区域」を設定し、地域の実状を踏まえた課題や改善策等の検討を行います。

### 2. 概要

国有林では、育成複層林化等の取組を先導的に進めるなど、多様な森林づくりを推進することとしています。

多様な森林づくりにおいては、自然条件や社会的条件を踏まえた育成単層林・育成複層林の適切な配置の検討や天然力を活用して育成複層林に誘導するための技術の検証など、地域の実状を踏まえた検討を進めていく必要があります。



### 3. 成果

岐阜森林管理署管内の岐阜県下呂市内の国有林1,085haに多様な森林づくりの「見える化区域」を設定しました。今後課題や改善策の検討を行っていくこととしています。

### 4. 問い合わせ先

計画課 電話026-236-2616

お役に立ちます 国有林

民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ





連載

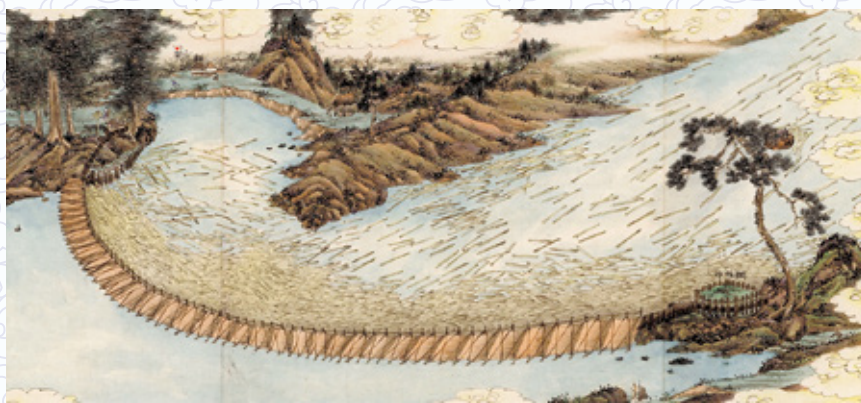
「木曾式伐木運材図会」の解説 (第十回)

中部森林管理局技術普及課

井上

日呂登

川の流れを利用してバラバラに運ばれてきた木材は、川の中流部に設けられた、「綱場」と呼ばれる場所で一旦集められます。



「留網張渡之圖」より

「留網張渡之圖」について

魚の群れを網で集めているかのような印象を受ける絵ですが、これは飛騨川にあった下原中綱場（現在の岐阜県下呂市）の光景です。上流から流れてきた木材が「留網」と呼ばれる太い綱からなるしかけで、下流に流されないように阻止されています。

「留網之圖」について



「留網之圖」より



明治時代の留網の写真

こちらは「留網」の構造を描いた絵です。白口藤（サルナシ）の蔓を何本も編んだ太く強靱な綱が用いられました。万が一、この留網が切れますと、木材が下流にバラバラ

に流れてしまい、大変な被害が出てしまいました。「綱場」で木材を一旦集めるのは、木材をチェックし、イカダを組んで、川の水量が増えてきた中流以降を流す為です。木曾川では岐阜県八百津町の錦織綱場、飛騨川では岐阜県川辺町の下麻生綱場が明治時代の間も、木材の中継基地として活躍しました。

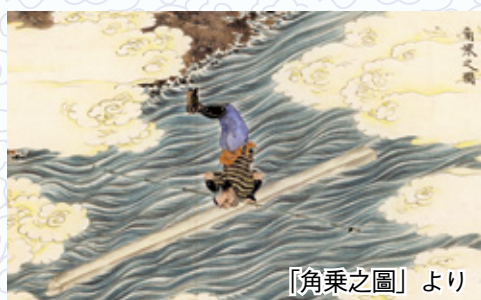


明治時代後期頃の錦織綱場

「角乗之圖」について

川での運材では、経験や才能は、

もとより、水に浮いた木材や丸太の上を自在に動き回るバランス感覚や身体能力によって仕事の効率が左右されました。



「角乗之圖」より

水上で行う「角乗」は仕事とは直接関係の無い、休憩時の余興、曲芸ではあります。年季を入れた日用（運材を担当する労働者）が自らの技量を示すものであったのかもしれない。

今回は、「桴士之圖」「桴乗下ケ之圖」「桴組立之圖」について解説させていただきます。

中部森林管理局では、この「図会」を保管し、それぞれの場面を切り取ったものを画像としてホームページで紹介しています。

サイトは、QRコードを読み込んでください。なお、木曾式伐木運材図会は、一般公開は行っていません。







岐阜県東濃地域は、「東濃檜」や「木曾檜（天然）」に代表されるヒノキの主要な生産地です。

林野庁では、次世代に残すべき代表的な巨樹・巨木を「森の巨人たち百選」として選定しています。当署管内からは二本の大ヒノキが選定されており、また、「木曾ヒノキ備林」として貴重な大檜も保存しています。今回は、管内の代表的な巨人たちを紹介します。

① 【神坂大檜】



中津川市神坂の湯舟沢国有林に

あり、幹周七・二二メートル、樹高が二十五メートル。通称「みさかおおひ」と呼ばれ、「大佛次郎賞」受賞作家の高田宏氏が名付けました。

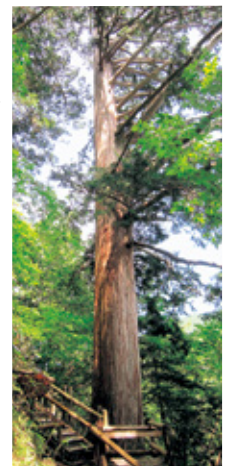
周辺は木曾五木（ヒノキ、サワラ、ネズコ、アスナロ、コウヤマキ）を中心とした天然林が広がり、神々しい雰囲気にも包まれ、長年風雪に耐えてきた天然木ならではの風格があります。

② 【笠木】



恵那市の上村恵那国有林にあり、幹周七・五四メートル、樹高が二十六メートル。根元に大きな瘤があり、太い枝が張り出し、笠のような樹形が特徴です。戦国時代の裏街道で笠置地方を監視する場所であったため、このように呼ばれるようになったとも伝えられています。

③ 【二代目大ヒノキ】



中津川市の加子母裏木曾国有林にあり、幹周四・八四メートル、樹高二十六メートル。昭和五十六年、当時の出ノ小路担当区主任（現・西股首席森林官）が三年余りをかけて見つけた推定樹齢千年前後の大檜です。

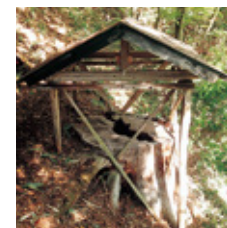
初代の大ヒノキ（後述）のような山神の宿るような理想的なヒノキではないといわれていますが、過去に裏木曾から伐採された巨木で、これを上回るものは、昭和二十九年の初代大ヒノキ、昭和十六年の伊勢神宮御扉用材、天保九年の江戸城西の丸御殿復旧用材の三本のみとされています。一帯は自然観察教育の場として専門のガイド付きで巡ることができます。

④（番外）【初代大ヒノキ】切り株

江戸城西の丸焼失再建の際、幕府から派遣された惣奉行「川路三左衛門」によってご神木とされた

木曾山随一の大檜がありました。

昭和九年の室戸台風で折・枯損し、後に学術参考のため伐採されました。切り株の平均直径は二二メートル、断面は豊三畳ほどあります。

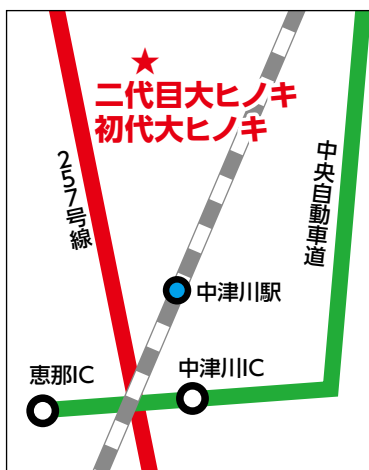


「二代目大ヒノキ」と等高線上の谷を挟んで真北の南斜面に現存しています。

※見学にあたっては現地へは、登山と同様、自己責任が原則です。また、入林届等の諸手続が必要となる場合や車道、林道等を通行することが必要となりますので、事前に東濃森林管理署までご確認ください。

◆各巨木へのアクセス【自動車】

- ①② 当局ホームページ「森の巨人たち百選」に掲載。詳細は、以下のQRコードを読み込んでください。
- ③④ 中央道「中津川IC」から国道二五七号経由約百分（約三十九キロメートル）





### 新型コロナウイルスの感染リスクを下げるために全ての場面で引き続き守ってほしいこと

- マスク着用や三密（密閉・密集・密接）の回避を徹底しましょう。
  - 換気を良くしましょう（室内の場合）。
  - 集まりは、少人数・短時間を心掛けます。
  - 大声をださず会話はできるだけ静かにしましょう。
  - 共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒を徹底しましょう。
- 改めて、三密の回避、手洗い、マスク着用、換気、共用施設の消毒などの徹底をよろしく願います  
詳しくは、次のQRコードを読み込んでください。
- ◇感染リスクが高まる「5つの場面」  
(内閣官房)
  - ◇新型コロナウイルスについて  
(農林水産省)



### 国有林モニターのご紹介

星野 暁美 (長野県)

#### ◇自己PR:(趣味や特技など)

健康のためにもウォーキングをしています。四季折々の花が楽しんで良いですね。ボランティア活動にも参加しています。日頃は読書と編物が大好きです。

#### ◇国有林モニターに

##### 応募いただいた理由

全国植樹祭、信州花フェスティバルに参加しました。お花や木などはきれいですし、大切にしなければいけないと思いました。他に水とか自然もです。

新型コロナウイルスでマスクをしてウォーキングロードを歩いています。六月上旬頃アカシアの花が満開でよい香りです。自然を見て、空を見上げて歩くと気持ちよいです。

#### ◇国有林に期待すること

わからないことだらけです。二年間宜しくお願い致します。

### ☆デジタル森林紀行 (愛称: デジ森)

今月の広報主任官のお勧めサイト!

どんなお勧めのサイトかは、以下のQRコードを読み込んでからのお楽しみ!

また、3つのQRコードの中には、過去へタイムスリップするデジ森の裏サイトがありますよ!

何かなあ

何だろう



!(^^)!



(\*^\_^\*)



ボランティア活動中の星野さん。赤いセーターにブルーのエプロンを掛けています。

### 編集長だより

(中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。)

コロナ禍で自粛が続き、家族で過ごす時間が長くなった。妻から「最近怒りっぽい」と言われた。うーん。確かに自宅にいると家族に些細なことで、文句を言っている。特に食いしん坊の小生は、食べ物の味付けなどをうるさく言っている。最近は、食べることが唯一の楽しみになっているので、味付けに妥協ができなくなっていたのかも。反省、反省…。

また、テレビ等を見てもマスクを着ける着けないといった些細なことがニュースになったりと、明日の希望が見えない状況に心の余裕を持ってくれているのではないのでしょうか。こんな時には、いつでもお気軽に自宅で森林や自然の風景を楽しむことができる「デジ森(もり)」で、美しい風景を閲覧になってはいかがでしょうか。ストレスの緩和に少しでもお役に立てますように…。



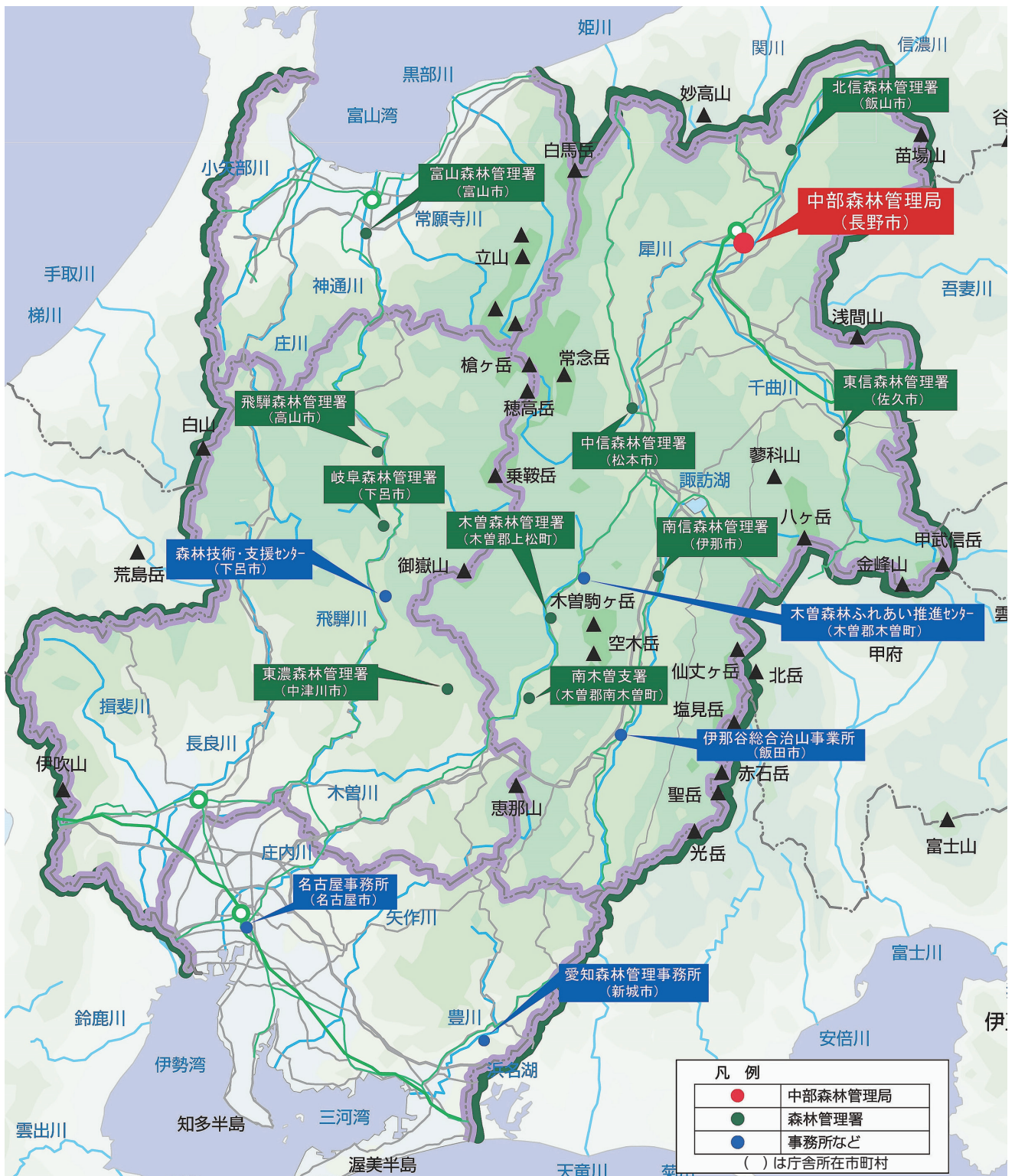
デジ森への入場ゲートは、左のQRコードを読み込んでください。

### デジ森 テーマ「@」



33「冬のブナの林」





お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 (代表) TEL 026-236-2721 (夜間・休日) FAX 026-236-2657

|                |           |                      |                   |                  |
|----------------|-----------|----------------------|-------------------|------------------|
| 名古屋事務所         | 〒456-8620 | 愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20 | TEL 050-3160-6660 | FAX 052-683-9269 |
| 富山森林管理署        | 〒939-8214 | 富山県富山市黒崎字塚田割591-2    | TEL 050-3160-6080 | FAX 076-424-4934 |
| 北信森林管理署        | 〒389-2253 | 長野県飯山市大字飯山1090-1     | TEL 050-3160-6045 | FAX 0269-62-4144 |
| 中信森林管理署        | 〒390-0852 | 長野県松本市島立1256-1       | TEL 050-3160-6050 | FAX 0263-47-4754 |
| 東信森林管理署        | 〒384-0301 | 長野県佐久市白田1822         | TEL 050-3160-6055 | FAX 0267-82-6959 |
| 南信森林管理署        | 〒396-0023 | 長野県伊那市山寺1499-1       | TEL 050-3160-6060 | FAX 0265-72-7774 |
| 木曾森林管理署        | 〒399-5604 | 長野県木曾郡上松町正島町1-4-1    | TEL 050-3160-6065 | FAX 0264-52-2582 |
| 南木曾支署          | 〒399-5301 | 長野県木曾郡南木曾町読書3650-2   | TEL 050-3160-6070 | FAX 0264-57-2686 |
| 飛騨森林管理署        | 〒506-0031 | 岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3  | TEL 050-3160-6085 | FAX 0577-34-8932 |
| 岐阜森林管理署        | 〒509-3106 | 岐阜県下呂市小坂町大島1643-2    | TEL 050-3160-6090 | FAX 0576-62-2503 |
| 東濃森林管理署        | 〒508-0351 | 岐阜県中津川市付知町8577-4     | TEL 050-3160-5675 | FAX 0573-82-2109 |
| 愛知森林管理事務所      | 〒441-1331 | 愛知県新城市庭野字東萩野49-2     | TEL 0536-22-1101  | FAX 0536-23-2254 |
| 森林技術・支援センター    | 〒509-2202 | 岐阜県下呂市森876-1         | TEL 050-3160-6095 | FAX 0576-25-2420 |
| 木曾森林ふれあい推進センター | 〒397-0001 | 長野県木曾郡木曾町福島1250-7    | TEL 0264-22-2122  | FAX 0264-21-3151 |
| 伊那谷総合治山事業所     | 〒395-0001 | 長野県飯田市座光寺5152-1      | TEL 050-3160-6075 | FAX 0265-22-0149 |